

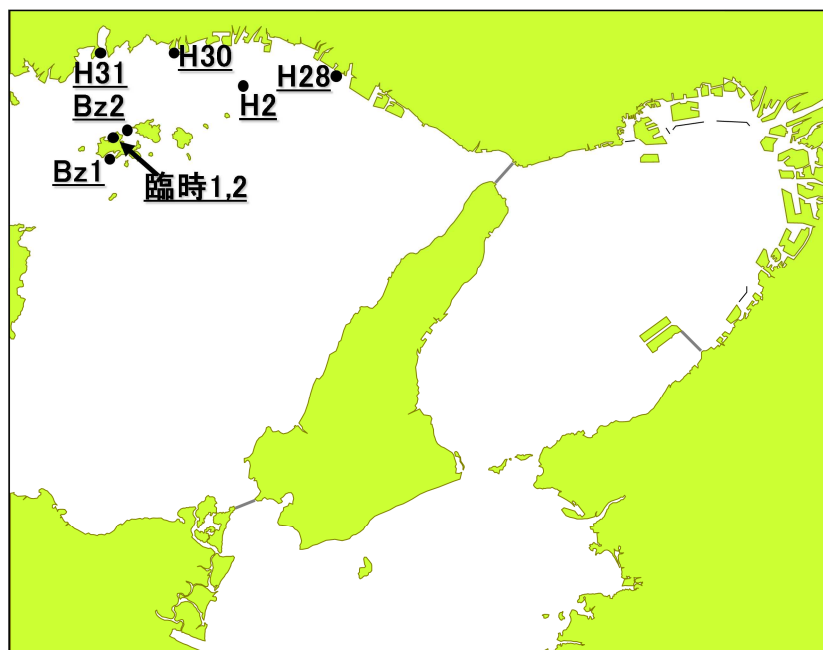
兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-30-06 号(播磨灘北部)

平成 30 年 7 月 17 日発行

7月17日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・播磨灘北部沿岸域を中心に、魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンのシャットネラ(アンティカ、マリナ)が増殖しており、先週よりも広い範囲で細胞密度が増加しています。**加古川沖を除く全地点で注意体制値を上回り、相生湾口では警戒体制値を超えています。海色の着色や海色の変化にご注意願います。**



シャットネラに警戒を!

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。

注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリナの合計値
注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml
 カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ
注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml
 ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ
注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベルキウロサ	クロロディウム・ポリクリコイデス	ヘテロシガマ・アガオ
H2	0	0	0	50.67	0	0	0	0	0
	5	0	0	34.00	0	0	0	0	0
	10	0	0	2.00	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	73.33	0	0	0	0	0
	5	0	0	20.67	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	2.67	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	150.67	0	0	0	0	0
	5	0	0	38.00	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	105.33	0.67	0	0	0	0
Bz1	0	0	0	50.67	0	0	0	0	0
	5	0	0	11.33	0	0	0	0	0
	10	0	0	17.33	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	1.33	0	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	34.67	0	0	0	0	0
	5	0	0	8.67	0	0	0	0	0
	10	0	0	16.00	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1(西島北側・湾奥)	0	0	0	34.00	0	0	0	0	0
	5	0	0	34.00	0	0	0	0	0
臨時2(西島北側・湾口)	0	0	0	39.33	0.67	0	0	0	0
	5	0	0	28.67	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は7月23日に定期調査(播磨灘全域)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-30-07号」として発行予定です。

お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 宮原、都倉)
 Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>